

## 年譜

## 京急グループ年譜 ●1898(明治31)年～2018(平成30)年

## 1898(明治31)年

- 2.25 大師電気鉄道(株)創立
  - 立川勇次郎が専務取締役(代表)に就任
  - 本社を東京市京橋区南鍋町1丁目5番地に置く
- 7.25 第1回定時株主総会を開催

## 1899(明治32)年

- 1.21 六郷橋～大師間(約2km)が開通  
(日本初の1,435mmの軌間を採用)

六郷橋～大師間  
を行く電車

- 2.8 本社を川崎町久根崎19番地に移転
- 4.25 大師電気鉄道(株)を京浜電気鉄道(株)に変更
- 11.29 六郷橋～大師間で複線運転開始

## 1901(明治34)年

- 2.1 品川延長線、六郷橋～大森停車場間の営業開始
- 8.24 電灯電力供給事業開始

## 1902(明治35)年

- 6.28 穴守線、蒲田～穴守(初代)間が開通
- 9.1 六郷橋～川崎停留所間が開通
- 10.17 「京浜電気鉄道沿革」を発行

## 1903(明治36)年

- 12.5 岩田作兵衛が専務取締役(代表)に就任

## 1904(明治37)年

- 5.8 品川(ハツ山)～八幡(大森海岸)間の開通により品川～川崎間全通、八幡～学校裏間の複線専用軌道開通
- 9.21 日本最初のボギー電車(76人乗りセミクロスシート型)10両を新造
- 10.23 雨宮敬次郎が専務取締役(代表)に就任
- 12.22 社長制を設け雨宮敬次郎が取締役社長に就任

## 1905(明治38)年

- 12.24 川崎～神奈川間の開通により、品川～神奈川間全通

## 1906(明治39)年

- 10.1 学校裏～梅屋敷間、雑色～川崎間の複線専用軌道開通(六郷川架橋を建設)

## 1907(明治40)年

- 4.17 本社を川崎町堀之内831番地へ移転
- 10.24 栗生武右衛門が取締役社長に就任

## 1908(明治41)年

- 12.1 京浜広告社と広告請負契約締結、鉄道広告営業開始

## 1909(明治42)年

- 3.1 京浜電気鉄道(株)が羽田運動場を開設
- 5.15 三浦泰輔が取締役社長に就任
- 10.1 横浜電気鉄道(のち横浜市電)と連絡運輸開始
- 10.16 横浜鉄道(現JR横浜線)との汽車電車連絡切符発売契約を締結

## 1910(明治43)年

- 1.1 「京浜遊覧案内」を発行
- 7.15 仲木戸付近、横浜鉄道との立体交差化工事竣工
- 8.5 青木正太郎が取締役社長に就任

## 1911(明治44)年

- 4.1 六郷川鉄橋開通
- 8.1 初の3扉車(90人乗り)25号形3両を新造

## 1912(明治45・大正元年)

- 6.24 福利共済事業として「一心会」発足

## 1913(大正2)年

- 7.1 大森変電所、鶴見変電所の運転開始

## 1914(大正3)年

- 4.17 鶴見花月園開園
- 5.1 生麦住宅地の販売開始

## 1915(大正4)年

- 10.12 手動式の閉そく信号機完成(2灯式)

## 1918(大正7)年

- 6.28 安田善三郎が取締役社長に就任

## 1919(大正8)年

- 10.4 創業20周年祝賀会を花月園で開催

## 1920(大正9)年

- 10.1 線路上に特別高圧送電線架設
- 11.25 海岸電気鉄道(株)設立

## 1921(大正10)年

- 6.1 貨物運輸の営業開始
- 12.24 安田善三郎が取締役社長に就任

## 1922(大正11)年

- 6.1 川崎運河の完成で、工場用地、住宅用地の販売開始

## 1923(大正12)年

- 5.1 電灯・電力事業から撤退。群馬電力に売却
- 9.1 関東大震災による全線の営業停止
- 9.11 震災による営業停止の一部運転再開
- 10.18 青木正太郎が取締役社長に再就任

## 1924(大正13)年

- 3.29 市電が品川停留場へ乗り入れ運転開始

## 1925(大正14)年

- 1.1 日本初の本格的半鋼製軽量ボギー車(旧51号形)20両の使用開始
- 3.11 品川鉄橋(ハツ山橋)～高輪間が開通し、路線が東京市内へ入る(高輪停留場開業)
- 12.27 湘南電気鉄道(株)設立、野村龍太郎が取締役会長(代表)に就任

## 1926(大正15・昭和元年)

- 12.1 六郷橋～京浜川崎間の新設複線専用軌道開通

## 1927(昭和2)年

- 8.27 八丁畷～川崎住宅地内(循環)の乗合自動車運輸開始(初のバス事業)
- 11.1 客車に暖房設備(電熱)設置

## 1928(昭和3)年

- 6.1 電車2両連結(総括制御)の運転開始
- 12.28 六郷橋～川崎大師間の新設複線専用軌道開通

## 1929(昭和4)年

- 6.22 神奈川～横浜(仮)駅(月見橋)間が開通(横浜駅で省線と連絡)

## 1930(昭和5)年

- 2.5 横浜(仮)駅～横浜(新)駅間が開通
- 4.1 湘南電気鉄道(株)の黄金町～浦賀間、金沢八景(六浦荘)～湘南逗子間開通
- 4.1 電車回数乗車券を販売開始
- 6.24 生野団六が取締役社長に就任
- 7.6 湘南電気鉄道(株)が馬堀海岸海水浴場開設
- 7.13 湘南電気鉄道(株)が富岡駅を開業、富岡海水浴場を開設

## 1931(昭和6)年

- 1.1 急行の運転開始(高輪～蒲田間)
- 1.15 臨海自動車(株)がグループ会社となる
- 4.1 湘南電気鉄道(株)湘南逗子駅葉山口乗降場の営業開始により、逗子線延長
- 12.26 黄金町～横浜間の開通により、湘南電気鉄道(株)と連絡線完成。横浜～浦賀間の直通運転開始(バス連絡廃止)

## 1932(昭和7)年

- 4.12 乗合バス、品川駅前～六郷橋詰間を生麦ガード下まで路線を延長し、運行開始
- 10.1 横浜市との契約により、乗合バス、生麦～横浜駅前間を延長し、品川～横浜間運行開始
- 11.29 本社を川崎市京町1丁目2番地1に新築し、移転

## 1933(昭和8)年

- 1.15 蒲田乗合自動車(株)がグループ会社となる

## 4.1 省線品川駅へ乗り入れ開始



- 品川～浦賀駅間の直通運転開始
- 品川～横浜駅間の軌間再変更工事竣工(1,372mmを1,435mmに)

## 1935(昭和10)年

- 2.14 望月軍四郎が湘南電気鉄道取締役会長(代表)に就任
- 5.3 大型貸切自動車事業開始
- 6.28 本社を川崎市堀川町29番地に移転
  - 高輪事務所を高輪南町17番地高輪ビルに開設
- 8.1 鎌倉乗合自動車(株)がグループ会社となる
- 9.1 梅森自動車(株)がグループ会社となる

## 1936(昭和11)年

- 2.1 湘南電気鉄道(株)が湘南乗合自動車(株)を合併
- 6.1 半島自動車(株)設立
- 12.25 品川～上大岡駅間の急行運転開始

## 1937(昭和12)年

- 8.8 湘南電気鉄道(株)が浦賀～竹岡間の汽船営業開始、湘南丸就航

## 1938(昭和13)年

- 1.1 半島自動車(株)、臨海自動車(株)、鎌倉乗合自動車(株)の3社が合併し、湘南半島自動車(株)を設立
- 6.1 電車42両のトリローボールをパンタグラフに改造(通称、改パン)
- 7.1 日本自動車道(株)を買収

## 1939(昭和14)年

- 4.21 脇道馨が湘南電気鉄道(株)取締役会長(代表)に就任
- 9.23 電車3両の連結運転が許可
- 11.10 京浜タクシー(株)設立
- 11.11 湘南電気鉄道(株)が浦賀～竹岡間の汽船営業を廃止

## 1940(昭和15)年

- 3.29 京浜興業(株)設立
- 12.19 京浜運輸(株)設立

## 1941(昭和16)年

- 5.1 湘南半島自動車(株)が日本自動車道(株)を合併
- 11.1 京浜電気鉄道(株)、湘南電気鉄道(株)、湘南半島自動車(株)3社合併、社名を京浜電気鉄道(株)とする

## 1942(昭和17)年

- 5.1 京浜電気鉄道(株)、東京横浜電鉄(株)、小田急電鉄(株)3社合併、社名を東京急行電鉄(株)とする(局制を敷き、品川・渋谷・新宿の3営業局を設置)

- 五島慶太が東京急行電鉄の取締役社長に、品川営業局長に田中百敏が就任
- 公郷変電所新設使用開始

## 12.1 横須賀堀ノ内～久里浜(仮) 駅間開通

## 1943(昭和18)年

- 7.5 湘南自動車工業(株)設立
- 9.21 久里浜駅を約500m延長移設

## 1944(昭和19)年

- 2.24 篠原三千郎が取締役社長に就任
- 5.31 東京急行電鉄(株)が京王電気軌道(株)を合併
- 6.1 川崎大師～産業道路駅間開通
- 10.1 産業道路～入江崎駅間開通

## 1945(昭和20)年

- 1.7 入江崎～桜本駅間開通
- 3.12 平山孝が取締役社長に就任
- 8.20 小宮次郎が取締役社長に就任
- 12.6 大師線と川崎市電が桜本駅で接続

## 1946(昭和21)年

- 3.1 小林中が取締役社長に就任
- 6.14 横浜～浦賀駅間で連合国軍専用車(白帯車)の運転開始



## 1947(昭和22)年

- 6.25 東京都との協定により、乗合バスの都内相互乗り入れ開始
- 10.16 井田正一が取締役社長に就任
- 11.28 (株)京急共栄会設立(2011年7月清算)

## 1948(昭和23)年

- 6.1 京浜急行電鉄(株)発足  
本社を東京都港区芝高輪南町17番地に置き、上田甲午郎が専務取締役(代表)に就任
- 6.4 デハ5400形就役
- 7.3 逗子線、湘南逗子～逗子海岸駅間開通
- 7.15 品川～浦賀駅間の直通運転再開
- 8.10 大師線、3線式乗り入れ契約を川崎市、味の素、運輸省鉄道総局と締結
- 8.一 逗子線、金沢八景～神武寺駅間の複線復旧工事竣工
- 9.6 横浜～逗子海岸駅間の直通運転開始
- 10.2 京浜自動車工業(株)(のち京急車輛工業(株)、現(株)京急ファインテック)設立
- 10.28 京浜観光開発(株)(現京急交通(株))設立
- 10.一 東京電機(株)(現京急電機(株))がグループ会社となる

- 12.21 川崎鶴見臨港バス(株)がグループ会社となる
- 12.23 井田正一が取締役社長に就任

## 1949(昭和24)年

- 2.1 急行バス、横浜～三崎間の運行開始  
東京都営バスと相互乗り入れ開始(東京駅八重洲口～川崎駅間)
- 2.23 デハ420形を10両新造
- 5.16 東京証券取引所一部に上場
- 6.1 創業50周年記念式典挙行
- 6.25 京浜百貨店(株)(現(株)京急ストア)がグループ会社となる
- 7.10 品川～逗子海岸駅間の直通運転(夏季)開始  
○ 3両編成運転再開
- 11.1 遊覧バス、鎌倉駅～建長寺～江ノ島循環の運行開始

## 1950(昭和25)年

- 2.20 葉山観光自動車(株)がグループ会社となる
- 6.一 ニュージャパンモーター(株)がグループ会社となる
- 12.25 田中百敏が取締役社長に就任

## 1951(昭和26)年

- 3.16 大師線の塩浜～桜本駅間に川崎市電が乗り入れ開始
- 5.8 逗子線の金沢八景第2踏切道に初の自動踏切遮断機設置
- 9.15 高周波式搬送指令電話装置を駅所在駅に設置
- 10.1 日本航空との特定旅客の自動車運送事業を開始

## 1952(昭和27)年

- 1.1 大師線、塩浜～桜本駅間を川崎市へ譲渡
- 3.21 急行の終日運転開始
- 6.1 社歌制定
- 6.23 湘南逗子駅に初の自動継電連動装置設置
- 6.24 神武寺～湘南逗子駅間の複線復旧工事竣工
- 7.6 品川～逗子海岸駅間で特急の直通運転開始
- 10.14 電車内の案内放送開始

## 1953(昭和28)年

- 2.25 社是制定
- 3.25 観音崎観光(株)がグループ会社となる
- 8.一 三崎観光(株)がグループ会社となる
- 9.30 600形を新造(3扉通動車)
- 10.一 信号機に警戒・減速の現示方式を初めて採用

## 1954(昭和29)年

- 1.19 大森水上レクリエーション(株)(現京急開発(株))がグループ会社となる
- 6.15 久里浜線の横須賀堀ノ内～湘南井田駅間の複線工事竣工
- 6.25 久里浜線に初の列車集中制御装置(CTC)新設
- 7.7 品川～湘南久里浜駅間の直通運転開始
- 7.25 三浦半島一周定期遊覧バス「さざなみ」号運行開始

- 12.一 横浜交通(株)(現京急横浜自動車(株))がグループ会社となる

## 1955(昭和30)年

- 5.20 急行バス、東京駅八重洲口～羽田空港間の運行開始
- 6.一 初の乗車券自動販売機を品川・京浜川崎駅に設置
- 7.30 東洋観光(株)がグループ会社となる
- 1956(昭和31)年
- 3.24 品川～横浜駅間の全踏切道で急緩行列車選別装置の使用開始
- 4.20 穴守線、穴守稲荷～羽田空港(初代)駅間開通
- 10.25 700形を4両新造(初のカルダン駆動採用)
- 11.1 広報誌「なぎさ」を創刊
- 12.10 国際シブサービス(株)がグループ会社となる(2001年3月清算)

## 1957(昭和32)年

- 9.16 文庫タクシー(株)(現京急文庫タクシー(株))がグループ会社となる
- 10.4 電車運転士の養成教習所開始
- 12.27 金田湾観光開発(株)がグループ会社となる

## 1958(昭和33)年

- 2.9 神奈川新町駅構内に電車運転士養成の教習所竣工
- 2.12 (株)京急油壺レストハウス(のち油壺観光(株)、現三崎観光(株))設立
- 3.16 はとバスと提携し、都内～羽田空港～鎌倉～江ノ島～都内の周遊コースの連絡運輸開始
- 6.11 800形(後の1000形)を4両新造
- 6.一 湘南逗子～逗子海岸駅間の複線化工事竣工
- 9.30 京急興業(株)(現京急不動産(株))設立

## 1959(昭和34)年

- 1.23 京急油壺レストハウス(のち観潮荘)竣工
- 3.15 久里浜線の湘南井田～湘南久里浜駅間の複線運転開始
- 5.4 羽田営業所の新築工事竣工
- 7.9 京浜汽船が横須賀～富津間の航路開設
- 7.31 中央交通(株)(現京急中央交通(株))がグループ会社となる
- 11.1 葉山自動車(株)(現京急葉山交通(株))がグループ会社となる

## 1960(昭和35)年

- 4.20 城ヶ島大橋開通により路線バス乗り入れ運行開始
- 7.11 (有)青堀タクシーがグループ会社となる
- 9.1 京光タクシー(株)(現京急交通(株))設立
- 9.15 湘南井田分譲地の販売開始
- 9.一 (株)大和屋(現京急フードサービス(株))がグループ会社となる
- 10.15 南太田変電所新設使用開始
- 11.28 わが国最初の電気式1号形ATS完成

## 1961(昭和36)年

- 4.25 京浜定期貨物運送(株)がグループ会社となる
- 7.4 京浜不動産(株)(現京急建設(株))設立
- 11.11 ワンマンバス、羽田空港駅～空港ターミナル間の運行開始
- 12.13 光電式自動踏切防護装置を生妻第2踏切道で使用開始

## 1962(昭和37)年

- 3.15 観音崎ホテル竣工
- 7.30 追浜に自動車教習所を開校
- 10.1 (株)川崎自動車教習所設立

## 1963(昭和38)年

- 1.25 都心乗入線品川～泉岳寺駅間の第1期建設工事着手
- 4.25 三崎観光ハイヤー(株)(現京急三崎タクシー(株))設立
- 4.12 上大岡駅ビル竣工
- 5.2 金沢八景～堀ノ内駅間に列車選別装置を設置
- 10.1 ホーム監視テレビの本格的な使用開始(横浜駅下りホーム)
- 11.1 京浜久里浜～野比駅間開通  
○ 穴守線を空港線に改称  
○ 井田車両工場(現久里浜工場)の操業開始  
○ 駅名変更により「湘南」を「京浜」に改称
- 11.3 葉山上山口分譲地の販売開始
- 11.28 (株)京浜共栄会(のち(株)京急共栄会)がグループ会社となる(2011年7月清算)

## 1964(昭和39)年

- 2.25 鈴木三郎助が取締役社長に就任
- 3.25 大師線の小島新田～塩浜駅間営業休止
- 5.20 更埴陸送(株)がグループ会社となる(のち京急物流(株)、2005年6月譲渡)
- 5.23 佐藤晴雄が取締役社長に就任
- 7.17 (株)京急自動車学校 上大岡校開校
- 8.1 (株)東京観光ホテル(のち(株)ホテル京急(2013年3月清算))がグループ会社となる

- 10.1 新社紋制定、社名略称の冠称「京浜」を「京急」に変更
- 11.1 飯網高原温泉開発(株)がグループ会社となる
- 12.2 葉山マリーナ全館開業
- 12.一 横須賀根岸台分譲地の販売開始

## 1965(昭和40)年

- 1.1 社旗制定
- 3.15 城ヶ島温泉ホテル(現城ヶ島京急ホテル)竣工
- 6.6 野比第1期分譲地の販売開始
- 8.19 羽田に観光バスセンター新設

## 1966(昭和41)年

- 1.1 特殊代用信号機を全線27踏切道(第1種乙踏切)で正式使用開始  
○ 第1種甲踏切4か所を自動化
- 3.23 浦賀駅に、日本初のプログラム式列車運行制御装置(PTC)設置使用開始

- 3.27 野比～津久井浜駅間開通
- 5.21 京浜川崎駅付近下り線高架工事竣工、使用開始(上り線は5月11日)

- 7.7 津久井浜～三浦海岸駅間開通・特急を終日10分間隔で運転開始

- 7.19 観音崎ビーチホテル(のち観音崎ビーチホテル)竣工
- 12.10 京浜川崎駅前付近で踏切道の除却工事と京浜川崎駅改良工事竣工

- 京浜川崎駅に新型運動装置新設
- 朝のラッシュ時に金沢文庫～品川駅間特急8両編成の運転開始

- 12.12 京急新橋地下駐車場(株)設立

1967(昭和42)年

- 5.27 電車の戸開閉操作を運転士から車掌に切り替え
- 6. - 700形を新造(初の4扉車)
- 7.9 「京急川崎レジャーセンター」営業開始
- 11.19 生麦駅の改良工事竣工(初の橋上駅)
- 11.- 合成電線使用開始(川崎大師～東門前駅間)

1968(昭和43)年

- 1.29 武山球場竣工
- 4.1 ATS(自動列車停止装置)を品川～堀ノ内駅間で部分使用開始
- 4.27 「京急油壺マリンパーク」営業開始
- 6.1 運転司令所を新設
- 6.21 快速特急列車の運転開始
- 都心乗り入れ、品川～泉岳寺駅間開通
- 誘導式列車無線装置の使用開始(泉岳寺～京浜川崎駅間)

- 9.22 横須賀池田建売住宅の販売開始

- 10.1 「京急サニーマート」営業開始

- 京急三浦海岸グラウンド完成

- 10.27 横須賀池田分譲地の販売開始

- 12.21 大師電気鉄道「発祥之地」記念碑を川崎大師駅構内に建立
- 横浜駅東口～高速道路経由～羽田空港間のワンマンバスの運行を開始

1969(昭和44)年

- 6.25 運輸省指定区間(品川～堀ノ内駅間)のATS設置完了
- 6.30 「京急三浦ビーチセンター」オープン
- 11.17 神武寺駅に第1種継電運動装置設置、これにより全線24か所の継電化完了
- 11.22 中川幸一が取締役社長に就任
- 12.9 本線と本線直通運転全区間のATS地上装置完成使用開始

1970(昭和45)年

- 2.16 (株)ホテルバシフィック東京設立
- 4.6 京急幼稚園開園

- 11.12 空港線、大師線でATS地上装置の使用開始(全線、全列車で使用開始)

- 11.20 休止中の大師線、小島新田～塩浜駅間廃止

- 12.1 鈴ヶ森～平和島駅間の全線高架化線開通(上り線1月20日開通)

1971(昭和46)年

- 1.24 休止中の空港線、羽田空港～穴守駅間廃止
- 2.15 京急レジャーサービス(株)(現京急サービス(株))設立
- 2.23 鶴見川新橋梁の上り線使用開始
- 4.- マルチプルタイタンパー導入
- 7.1 新造1000形と600形屋上に冷房装置取付け初の冷房車就役

- 7.27 「ホテルバシフィック東京」開業



- 10.1 平和島と京浜久里浜両駅に初の乗車券センター営業開始、駅業務のオンライン化始動
- 12.23 電車に盲導犬の乗車を認める

1972(昭和47)年

- 3.31 六郷川新橋梁の切り替え完成、使用開始
- 4.1 京急新橋地下駐車場営業開始
- 5.26 大森電力司令所完成、変電所の集中制御開始
- 6.1 新橋地下街「しんちか」オープン
- 7.1 金沢八景に「八景京急ボウル」オープン

1973(昭和48)年

- 3.19 大森営業所で低床式バスの使用を開始
- 10.1 神奈川地区で盲導犬のバス乗車を認める(株)平和嶋が長野県青木湖畔に「ホテルブルーレイク」開業(2001年3月清算)
- 12.15 駅の集中放送装置全線完成、車掌によるワイヤレスマイク使用開始

1974(昭和49)年

- 1.17 金沢文庫車庫基地完成(収容能力272両)、車上進路設定装置使用開始
- 5.11 京急第2ビル完成
- 5.26 横浜駅相対式ホームを島式ホームに改良
- 7.11 (株)京急ツーリスト(のちの京急観光(株))設立
- 10.1 社員持株制度発足
- 12.2 朝のラッシュ時に金沢文庫～横浜駅間で民鉄初の特急12両編成運転開始

1975(昭和50)年

- 4.26 三浦海岸～三崎口駅間開通
- 5.27 片桐典徳が取締役社長に就任

- 7.23 南総興業(株)(現(株)市原京急カントリークラブ)がグループ会社となる

1976(昭和51)年

- 3.31 京急レストラン(株)がグループ会社となる
- 8.1 空港線車輛を大型化
- 10.15 北品川～青物横丁駅間の高架化工事完成。「北馬場」「南馬場」を統合、「新馬場駅」開業

1977(昭和52)年

- 11.1 大師線の車両を大型化
- 12.13 京急土地(株)設立

1978(昭和53)年

- 6.1 京浜電鉄デ51形・湘南電鉄デ1形を復元し、久里浜工場内に永久保存
- 6.16 初のバス運賃自動清算装置導入
- 6.21 都営地下鉄線に8両編成の乗り入れ開始
- 7.20 「京急富津観光ホテル」開業(2001年8月休止)
- 12.27 800形を新造

1979(昭和54)年

- 5.1 「川崎京急スイミングスクール」オープン
- 7.8 800形が1979年度ローレル賞受賞



- 10.26 長沢隧道貫通
- 12.4 バス横浜シティ・エア・ターミナル(YCAT)～新東京国際空港間(旅客限定)運行開始
- 12.16 港南丸山ニュータウン第1回建売住宅の販売開始
- 12.19 鶴見市場～花月園駅間下り高架線の使用開始(上り線は3月1日)

1980(昭和55)年

- 5.23 京浜久里浜駅に初のエスカレーター(昇り)設置
- 6.27 京急長沢～津久井浜駅間の複線化工事完成
- 8.24 「市原京急カントリークラブ」オープン
- 11.11 金沢文庫第1京急ビル(賃貸)完成

1981(昭和56)年

- 2.1 京急第5ビル(賃貸)完成
- 3.18 京急第3ビル(賃貸)完成
- 3.27 港南丸山地区区画整理事業完成
- 3.30 本社を泉岳寺ビルへ移転統合
- 3.31 鎌倉小町京急ビル(賃貸)完成
- 6.22 平日ダイヤを全面改正、朝のラッシュ時に通勤快特を新設、金沢文庫～品川駅間を12両編成で運転
- 6.25 飯田道雄が取締役社長に就任

1982(昭和57)年

- 4.1 京急商事(株)設立(2011年3月清算)
- 5.10 鎌倉御成町京急ビル(賃貸)完成
- 6.7 品川駅の改良工事が竣工、12両編成列車の発着が可能となる
- 12.1 「谷津坂」を「能見台」と駅名改称
- 12.27 2000形を新造

1983(昭和58)年

- 5.20 「京急ニュータウン金沢能見台」建売住宅販売開始
- 8.28 2000形が1983年度ブルーリボン賞受賞
- 11.28 京急第1ビル完成、30日に「ウィング高輪」オープン

1984(昭和59)年

- 6.13 新社是制定
- 9.20 ホテル京急(株)(現(株)観音崎京急ホテル)設立

1985(昭和60)年

- 1.9 京急猪苗代リゾート(株)設立
- 3.2 「京浜逗子」と「逗子海岸」を統合、「新逗子」に駅名改称
- 3.25 1500形を新造
- 7.20 「観音崎京急ホテル」開業

1986(昭和61)年

- 3.16 京急ニュータウン三浦海岸の建売住宅販売開始
- 7.15 「京急猪苗代リゾートホテル」開業

1987(昭和62)年

- 4.1 初のフリー乗車券「三浦半島ぐるりっぷ」発売開始
- 4.25 「ウィング久里浜」オープン
- 6.1 駅名を改称、冠称「京浜」から「京急」へ
- 6.26 芹沢守利が取締役社長に就任
- 12.13 南太田駅の待避設備完成
- 12.15 京急商事(株)がグループ会社となる(2011年3月清算)

1988(昭和63)年

- 1.4 創立「90周年シンボルマーク」、「コーポレートスローガン」発表
- 1.11 1500形16両を新造(初のアルミ合金製車体導入)
- 3.29 京急幼稚園が富岡地区から能見台地区へ移転
- 5.10 片桐典徳取締役名譽会長が、勲一等瑞宝章を受章
- 6.2 創立90周年記念式典挙行
- 7.26 電車の冷房化率100%達成
- 8.1 逗子にフライホール式電車線電力蓄装装置新設
- 10.14 京浜観音開園50周年法要挙行
- 11.11 「京急クアリゾート平和島」オープン
- 11.13 弘明寺～上大岡駅間の立体交差工事完成
- 11.20 高速バスの座席予約システム運用開始
- 11.30 新社歌制定

1989(昭和64・平成元)年

- 1.15 品川バスターミナルが完成、使用開始
- 3.31 高輪京急ホテル(京急第7ビル)完成

- 7.11 YRPが政府関係機関初のPFI事業者に選定される
- 7.24 「BIG FUN平和島」オープン
- 9.10 青物横丁駅改良工事が完成
- 9.17 京浜急行電鉄(株)が(株)葉山マリナーの株式を取得
- 10.28 平和島温泉クアハウスがISO9001を認証取得
- 11.1 (株)京急ビルテック平和島、平和島サービス(株)設立
- 11.28 大鳥居第1京急ビル、大鳥居東口改札口開業
- 12.21 無線LAN倶楽部サービス提供開始
- 12.25 (株)京急百貨店がニュージャパンモーター(株)を合併

## 2003(平成15)年

- 3.1 「ウイング新橋」オープン
- 3.3 (株)京急フレッシュワン平和島設立
- 3.10 「京急メモリアルサービス久里浜」営業開始
- 3.31 (株)京急マリーンフーズ設立
- 4.10 京浜急行バス(株)設立
- 5.1 京急線全駅で全面禁煙を実施
- 5.23 大鳥居第2京急ビル開業
- 6.24 海洋深層水風呂「みうら湯」弘明寺店オープン
- 9.11 障がいのある方の雇用のための特例子会社(株)京急ウィズ設立

- 10.1 会社分割により自動車事業を京浜急行バス(株)に承継

## 2004(平成16)年

- 1.29 「京急安浦」を「県立大学」に駅名改称
- 3.1 京急建設(株)がISO14001を認証取得
- 4.1 「京急キッズランド上大岡保育園」が認可保育園として新たに開園
- 4.15 (株)ホテル京急が障がい者雇用特例認定される
- 7.1 (株)楼蘭設立
- 10.1 (株)京急ライフクリエイト設立
- 11.1 「京急グループポイントサービス」開始
- 11.8 新潟県中越地震による上越新幹線の復旧作業に軌道検測車(EM30)をJR東日本へ貸与
- 12.1 羽田空港第2旅客ターミナル開業
- 羽田空港駅に「京急ステーションコンシェルジュ」を配置
- 品川駅高架下にフードテマパーク「品達ラーメン 麺達七人衆」オープン

- 12.17 京急サービス(株)がISO9001を認証取得

- 12.21 金沢文庫第2京急ビル竣工

- 12.24 (株)ホテル京急がISO14001を認証取得

- (株)楼蘭がISO14001を認証取得

## 2005(平成17)年

- 1.7 (株)京急システムがISO9001を認証取得
- 1.26 ホテルバシフィック東京が宿泊のお客さまから善意として寄せられた155万6893円を(財)日本ユニセフ協会に寄贈

- 鉄道ダイヤ改正(日本初の空港間直通電車「エアポート快特」運転開始)

## 1999(平成11)年

- 2.1 油壺観光(株)が三崎観光開発(株)を合併

- 4.1 全改札口の自動化が完了し、乗降確認システムを導入

- 三崎観光(株)が油壺観光(株)を合併

- (株)京急システム設立

- 京急バス(株)設立

- 4.30 (有)環境ソリューション(現(株)京急サービス)設立

## 2000(平成12)年

- 3.24 川崎第3京急ビル竣工

- 5.11 京急電鉄制服および作業服、鉄道会社初の「エコマーク」認定を取得

- 6.1 臨港グリーンバス(株)設立(2011年3月清算)

- 6.27 ホテルバシフィック東京がISO9001を認証取得

- 8.15 (株)京急ファシリティ設立

- 9.16 駅係員による構内売店販売業務を開始(新大津・北久里浜・津久井浜)

- 10.2 高速バス「ノクターン号」女性専用車両運行開始

- 11.24 駅直結型の「京急キッズランド井土ヶ谷保育園」開園

- 12.15 (株)京急自動車学校が京急湖南開発(株)を合併

- 12.20 共通乗車カードシステム「バスネット」導入開始

- 12.26 横浜京急バス(株)、横須賀京急バス(株)〈のちの湘南京急バス(株)〉設立

## 2001(平成13)年

- 3.1 三浦ディーエスダブリュ(株)設立(2010年2月清算)

- 3.28 久里浜工場がISO14001を認証取得

- 4.1 臨港交通(株)が川崎臨港ハイヤー(株)を合併

- 5.16 京急フレッシュヤーズ(株)設立

- 6.13 (株)京急流通サービス清算

- 6.16 (株)京急ステーションサービス(現(株)京急ステーションコマース)設立

- 7.3 弘明寺へ身代地蔵菩薩奉納

- 9.12 (株)京急百貨店がISO14001を認証取得

- 9.28 (株)京急ビジネス設立

- 10.1 京急ロイヤルフーズ(株)が京急房総観光(株)を合併

- 10.22 私鉄初 品川・羽田空港駅ほかでISO9001:2000を認証取得

## 2002(平成14)年

- 2.1 青物横丁京急ビル竣工

- 3.1 (株)ホテル京急が京急都市開発(株)を合併

- 3.18 「京急キッズランド上大岡保育園」開園

- 4.1 (株)京急ハウツ設立

- 京急管財(株)設立

- 6.1 運輸司令所、電力司令所、車両センター、工務保安センターを総合司令所に統合

- 3.6 羽田営業所と横浜営業所見台車庫でハイブリッドバスを各1両使用開始

- 3.20 大森営業所でリフト付バス1両を使用開始

- 4.1 特殊乗車券「京急ぐるりっぴ」・三浦半島宿泊パック「ぐるりプラン」発売開始

- 品川～横浜間で日中と夜間の一部の快特の最高速度120キロ／時に、横浜以南で快特と特急の最高速度110キロ／時にスピードアップ

- 4.3 (株)京急ショッピングセンター設立

- 11.1 鉄道総合司令所で、運輸・工務・電気の総合的管轄を開始

## 1996(平成8)年

- 2.16 「お客様案内係」を品川など8駅に配置

- 3.22 「京急金沢文庫キッズワールド」オープン

- 5.7 芹沢守利前会長が、勲一等瑞宝章を受章

- 7.30 電車車掌に女性社員を登用

- 9.20 YCATが横浜駅東口(スカイビル)に移転、同所に成田空港・羽田空港行きバス乗り場を移転

- 10.1 「京急百貨店・ウィング上大岡」グランドオープン

## 1997(平成9)年

- 3.31 大師線3線乗り入れ契約を解除(当社・味の素・神奈川臨海鉄道)

- 4.27 横須賀中央駅改良工事が完成(中央Yデッキと直結)

- 6.22 上大岡第1・第2踏切道立体交差化事業下り高架橋の使用開始(上り線5月12日)

- 6.27 小谷昌が取締役社長に就任

- 10.1 横須賀リサーチパーク(YRPセンター1番館・2番館)竣工

- 創立「100周年記念シンボルマーク」・「コーポレートスローガン」発表

- 12.19 バス路線、横浜駅～木更津駅間、川崎駅～木更津駅間、羽田空港～木更津駅間の運行開始(東京湾アクアライン経由)

## 1998(平成10)年

- 2.25 創立100周年

- 3.28 2100形を新造

- 4.1 貸切バス事業を京急観光バス(株)へ事業統合(京浜急行電鉄・川崎鶴見臨港バス、日本観光興業貸切バス事業統合)

- 4.17 (株)京急トラフィックサービス設立

- 5.26 創立100周年記念式典挙行

- 6.1 お台場に「ホテル グランバシフィック メリディアン」開業

- 7.29 長野県飯綱高原に「長野京急カントリークラブ」オープン

- 7.31 (有)ピーアンドエス(現(株)京急メモリアル)設立

- 10.10 「京急ファミリー倶楽部(ほっとプラザ)」オープン

- 11.16 羽田空港駅開業記念式典を挙行

- 11.18 空港線延伸第2期工事に伴い「羽田空港」駅開業、「羽田」を「天空橋」に駅名改称

- 4.1 大船～江ノ島有料道路を廃止

- 12.20 (株)京急百貨店設立

## 1990(平成2)年

- 3.29 久里浜検車区竣工

- 7.21 横浜～清里間の高速バスの運行開始(夏季路線)

- 10.5 1500形初のVVVF車両を新造

- 12.2 新馬場～大森海岸駅間の立体交差化工事下り線が完成(上り1989年6月25日完成)、これにより新馬場第1踏切道から立会川第3踏切道までの13か所の踏切道廃止

- 12.14 深夜急行バス、横浜駅～関内駅～京急久里浜駅間の運行開始

## 1991(平成3)年

- 3.31 京急線、都営浅草線、京成線、北総・公団線による4線連絡運転開始

- 4.1 新日本自動車(株)がグループ会社となる(2002年9月清算)

- 6.24 (株)ホテルバシフィック千葉設立(1995年2月清算)

- 6.27 平松一郎が取締役社長に就任

- 11.22 (株)京急流通企画、京急都市開発(株)設立

## 1992(平成4)年

- 1.18 品川駅高輪口を皮切りに自動改札機の導入開始

- 4.16 「京急ウィング号」の運行開始

- 9.18 大船駅東口「ルミネウィング」オープン

- 11.28 鎌倉駅～大塔宮間、鎌倉～大仏前間でレトロ調バス「京急りんどう号」運行開始

- 12.3 (株)京急アドエンタープライズ設立

## 1993(平成5)年

- 3.25 横須賀テレコムリサーチパーク設立

- 3.31 羽田駅周辺利用者のため人道橋「天空橋」を開通

- 4.1 空港線延伸第1期工事が完成、羽田駅開業(初代羽田空港駅を廃止)
- 都営浅草線方面からの直通急行列車(6両編成)の空港線への乗り入れ開始

- 4.24 品川～萩間「萩エクスプレス」号の運行開始

- 12.8 自動精算機を品川など8駅に順次導入

## 1994(平成6)年

- 1.19 (株)京急ステーションサービス設立(2010年7月清算)

- 3.29 600形を新造

- 4.1 ストアードフェアシステムを導入、「ルトラカード」を発売
- 京急グループクレジットカード「NAGISA」を発行

- 7.29 「京急ハウツ」オープン(サニーマート内)

- 10.1 バス共通カードの使用開始(大森・横浜営業所)

- 10.15 鉄道総合司令所完成、運輸司令システム業務開始

## 1995(平成7)年

- 2.1 (株)ホテルバシフィック東京が(株)高輪京急ホテルを合併し、商号が(株)ホテル京急となる

## 3.14 600形「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」運行開始



- 4.1 「京急カード」発行
- 5.9 「女性専用車両」試験運転開始
- 5.12 (株)ホテルグランパシフィック設立
- 5.16 鉄道本部内に「安全対策担当」を新設
- 6.19 観音崎京急ホテルにビューティー&リラクゼーションスパ「SPASSO」オープン
- 6.29 石渡恒夫が取締役社長に就任
- 10.3 臨港エステート(株)設立
- 10.7 久里浜線延伸区間「三崎口～油壺(仮称)間」の免許一旦取り下げ
- 11.1 京急線全駅および京急グループ各店舗、合計150か所に「こども110番」設置
- 11.21 (株)京急ウィズが「クリーニング工場」営業開始

## 2006(平成18)年

- 1.17 京急電気工事(株)設立
- 2.28 京急百貨店100か月連続前年同月実績超えを達成
- 6.16 主要駅に「AED(自動体外式除細動器)」を設置
- 8.1 総合司令所に気象庁が配信する緊急地震速報を活用した「緊急地震速報システム」を設置
  - 京浜急行電鉄(株)が(株)京急ストアを完全子会社化
- 9.12 お客さまご案内窓口「京急ご案内センター」開設
- 10.1 京浜急行電鉄(株)が川崎鶴見臨港バス(株)を完全子会社化
  - 鉄道安全管理規程制定

## 2007(平成19)年

- 1.20 「湘南佐島なぎさの丘」販売開始
- 3.1 (株)京急アド交通メディアワーク設立
- 3.16 施設部の現業部門を分社して京急鉄道施設(株)が営業開始
- 3.18 ICカード乗車券「PASMO」導入
- 3.31 新1000形6次車両を新造(京急初のステンレス車両導入)
- 4.1 京急サービス(株)による認可保育園「京急キッズランド上永谷保育園」が開園
  - (株)京急ファシリティが京急管財(株)を合併し、(株)京急ビルマネジメントに商号変更
- 5.1 (株)ホテル京急が(株)楼蘭を合併
- 5.8 平松一朗取締役相談役が、旭日大綬章を受章
- 7.2 (株)京急イーエクスイン設立
- 7.28 品川駅に外貨自動両替機設置

- 9.15 台場に「Verre et Cour(ヴェルエクール)」オープン
- 11.11 「京急E Xイン 大森海岸駅前」開業

## 2008(平成20)年

- 2.25 創立110周年を記念して駅係員、乗務員の制服を更新
- 4.2 ホテルパシフィック東京に「シガボール・シーフード・リバブリック」オープン
- 4.19 京急開発(株)、「横浜イーストスクエア」竣工
- 5.30 ウィング高輪WESTに秋田県アンテナショップ「あきた美彩館」オープン
- 6.1 「ホテルパシフィック東京」、「ホテル グランパシフィックメリディアン」が新たに「パシフィックホテルズ」としてブランド展開開始
  - 「ホテル グランパシフィック メリディアン」を「ホテル グランパシフィック LE DAIBA」に改称
- 8.8 「京急E Xイン 新馬場駅北口」開業
- 10.1 ユニオネックス(株)の全株式を取得し、連結対象子会社に
  - 神武寺駅にて米軍専用改札を運用開始
- 11.18 駅メロディの導入開始

## 2009(平成21)年

- 2.14 高機能ATSを全線で運用開始
- 4.1 (株)京急ショッピングセンターが京急新橋地下駐車場(株)を合併
- 8.1 「みさきまぐろきっぷ」発売開始
- 9.30 駅売店をセブン-イレブン展開することで業務提携

## 2010(平成22)年

- 3.18 「よこすかグルメきっぷ」発売開始
- 4.16 「京急E Xイン 浅草橋駅前」開業
- 5.16 鉄道ダイヤ改正(「エアポート快特」、「エアポート急行」の新設など)
- 6.28 1000形車両引退
- 9.14 「京急E Xイン 横浜駅東口」開業
- 9.30 「ホテルパシフィック東京」営業休止
- 10.14 「京急E Xイン 蒲田」開業
- 10.21 「羽田空港国際線ターミナル」駅開業、「羽田空港」を「羽田空港国内線ターミナル」に駅名改称
  - 羽田空港国際線ターミナルへバス乗り入れ開始
  - 京急線全駅にて駅ナンバリングを導入
  - 社名略称を「京急電鉄」に、英文会社名を「Keikyu Corporation」に変更
- 11.1 京急開発(株)が(株)京急ジョイフルを合併

## 2011(平成23)年

- 4.29 「SHINAGAWA GOOS(シナガワ グース)」、「京急E Xイン 品川駅前」開業



- 7.30 トリプルタワーマンション「リヴァリエ」販売開始
- 10.1 「京急グループポイントサービス」が「京急プレミアムポイント」にリニューアル
- 11.6 京急グッズショップ「おとどけいきゅう 鮫洲店」開店
- 11.11 「京急E Xイン 高輪」開業

## 2012(平成24)年

- 3.31 京急タクシーグループが、全車両にPASMO電子マネーの導入を完了
- 5.23 京急線全駅にて定期乗車券の払い戻し取り扱い開始
- 10.1 京急百貨店オンラインショップ「吉日屋」開設
- 10.21 京急蒲田駅付近連続立体交差事業全乗車区間の上下線高架化完了
  - 鉄道ダイヤ改正(品川～羽田、横浜～羽田直通電車を10分間隔で運行)

## 2013(平成25)年

- 3.23 交通系ICカード全国相互利用サービス開始
- 4.1 (株)京急ストアがユニオネックス(株)を合併
  - 「京急キッズランド港町駅前保育園」、「京急キッズランド黄金町保育園」開園
- 6.27 原田一之が取締役社長に就任
- 7.18 梅屋敷駅にて京急初の副駅名称「東邦大学前」を導入



副駅名称の入った駅看板

- 7.26 京急百貨店が百貨店初のエコマーク認定「小売店舗」を取得
- 11.3 小谷昌取締役相談役が旭日大綬章を受章
- 11.19 「高架下新スタジオ(Site-A～Dおよびかいだん広場)」が「第57回神奈川建築コンクール一般建築部門」にて優秀賞を受賞

## 2014(平成26)年

- 2.19 横浜市金沢区と津波発生時における施設等の提供協力に関する協定を締結
- 2.一 車両内に公共交通無線LANサービス提供開始

- 3.1 訪日外国人向け無料公衆無線LANサービス開始
- 3.19 大師線港町駅が「第20回川崎市景観形成協力者表彰」を受賞
- 4.2 神奈川新町駅前に商業施設「新町第1京急ビル」「新町第2京急ビル」開業
- 5.1 新1000形「KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN」運行開始
- 7.18 葉山マリナー開業50周年  
スイス・モントルーマリナーと姉妹クラブ提携
- 7.19 「みさきまぐろきっぷ」優待施設を追加
- 7.23 横浜市金沢区他7者と「環境未来都市 横浜“かなざわ八橋(はっけい)協定”」締結
- 8.16 IR施設運営を見据えた新規事業プロジェクトチーム発足
- 11.8 鉄道ダイヤ改正  
(品川～羽田空港国際線ターミナル駅間を「**エア**ポート快特」11分で運行)
- 11.10 京急ストア「かながわ彩り弁当」がフード・アクション・ニッポンアワード2014「販売促進・消費促進部門」優秀賞受賞
- 11.13 京急ストア、神奈川県と「連携と協力に関する包括協定」締結
- 11.17 「ザ・タワー横須賀中央」入居開始
- 12.5 京急開発(株)、「平和島物流センター」竣工

## 2015(平成27)年

- 2.26 台湾鉄道管理局と「友好鉄道協定」締結
- 4.1 「ウィング高輪 EAST」リニューアルオープン
  - 京浜急行電鉄(株)が京急鉄道施設(株)を吸収合併
- 4.25 「京急ツーリストインフォメーションセンター(京急TIC)コンシェルジュ」品川駅での案内開始
- 5.28 「ミシュラン・グリーンライナー」羽田空港～東京駅線で運行開始
- 6.26 「品川開発推進室」新設
- 7.一 (株)京急リポ設立
- 10.14 日本鉄道賞表彰選考委員会による「高度な安定輸送実現」特別賞を受賞



- 10.21 羽田空港国際線ターミナル駅に「ウィングエアポート羽田」開業
- 12.4 タイ空港鉄道・SRTETと「友好鉄道協定」締結
- 12.7 「モーニング・ウィング号」運行開始
- 12.11 京急蒲田駅高架下に「ウィングキッチン京急蒲田」開業

## 2016(平成28)年

- 3.16 久里浜線延伸(三崎口～油壺(仮称)駅間)事業および延伸区間における三浦市三戸・小網代地区の大規模宅地開発事業凍結を発表
- 3.24 「京急E Xイン 秋葉原」開業
- 3.28 横浜への本社移転を発表



- 4.1 京急鶴見駅前に「京急お忘れものセンター」開設
- 4.25 ウィングエアポート羽田に「品達 羽田」開業
- 4.27 「京急川崎駅前ビル」開業
  - 「京急E Xイン 京急川崎駅前」、「ウィング川崎」オープン
- 5.11 京急グループ総合経営計画を発表
- 5.20 (株)ホテルグランバシフィックを譲渡
- 6.23 「京急E Xイン 品川・泉岳寺駅前」開業
- 6.29 「新規事業企画室」新設
- 8.25 「京急E Xイン 東銀座」開業
- 10.24 三浦海岸駅で「どこでもドア®(マルチドア対応ホームドア)」実証実験開始

## 2017(平成29)年

- 1.23 訪日外国人向け無料公衆無線LANサービス「KEIKYU FREE Wi-Fi」サービス開始
  - 「京急E Xイン 横須賀リサーチパーク」リブランド開業
- 2.4 「葉山女子旅きっぷ」が「かながわ観光大賞」受賞
- 3.7 「プライムコネクト 金沢文庫」竣工
- 3.17 「京急川崎駅前ビル」が「第23回 川崎市都市景観形成協力者表彰」を受賞
- 3.28 座席指定券購入サイト「KQuick」サービス開始
  - 「京急線アプリ」配信スタート
- 4.1 「おとどけいぎゅうプラス横浜港さん橋店」開店
- 4.4 川崎市と「包括連携協定」締結
- 5.1 「モーニング・ウィング号」と下り「ウィング号」を座席指定列車に変更
- 5.27 京浜急行バス、油壺行系統を「京急油壺マリンパーク」まで路線延長
- 6.9 観音崎京急ホテルに「snow peak glamping 京急観音崎」オープン



- 6.23 川崎港町トリプルタワーズシティ「リヴァリエ」プロジェクトが完了
- 7.14 京急鶴見駅に「ウィングキッチン京急鶴見」開業
- 10.1 京浜急行電鉄(株)が(株)京急ステーションサービスを合併
- 10.25 「京急EXイン 羽田」開業
- 11.19 川崎鶴見臨港バスが創立80周年を記念し「運賃無料デー」を実施

## 2018(平成30)年

- 2.25 創立120周年記念式典を実施
  - 京急線の優待乗車証(電車全線片道1回)を2枚配布
- 3.1 京急観光(株)の一部事業を(株)日本旅行に事業譲渡
- 3.14 (株)Rバンクの株式取得(子会社化)
- 3.28 2000形車両引退



- 4.1 京浜急行バス(株)が子会社3社を吸収合併
- 4.25 「京急ツーリストインフォメーションセンター 品川駅」新設
- 4.28 京急油壺マリンパーク開館50周年記念式典を実施
  - 日ノ出町～黄金町駅間の高架下スペースに「Tinys Yoko hama Hinodecho」オープン
- 4.29 石渡恒夫取締役会長が旭日大綬章を受章
- 6.21 京急線×都営交通相互直通50周年

# 民鉄16社比較

## 鉄道事業単体

(2017年度)

項目 社名	資本金 (百万円)	従業員数 (人)	営業キロ (km)	客車 車両数 (両)	旅客 運輸収入 (百万円)	客車 走行キロ (千km)	輸送人員 (千人)	延人キロ (百万人キロ)
京急	43,738	2,753	87.0	790	81,620	116,643	476,856	6,542
東武	102,135	3,477	463.3	1,916	148,308	274,780	920,482	12,645
西武	21,665	3,611	176.6	1,276	99,348	174,298	658,650	8,872
京成	36,803	1,641	152.3	598	63,227	97,911	286,929	4,093
京王	59,023	2,518	84.7	881	82,534	128,418	670,242	7,861
小田急	60,359	3,726	120.5	1,083	117,322	183,332	755,328	11,710
東急	121,724	4,535	104.9	1,238	140,239	149,150	1,178,659	11,230
東京メトロ	58,100	9,574	195.1	2,728	341,550	290,407	2,709,064	21,715
相鉄	100	1,067	35.9	398	31,396	48,156	231,738	2,586
名鉄	95,148	5,072	444.2	1,072	88,423	189,497	386,864	7,126
近鉄	100	7,468	501.1	1,905	149,949	286,981	578,374	10,937
南海	72,983	2,615	154.8	688	57,953	95,493	238,479	3,971
京阪	100	1,356	91.1	706	51,820	89,257	294,409	4,175
阪急	100	3,152	143.6	1,295	96,335	170,670	654,946	9,248
阪神	29,384	1,435	48.9	358	33,436	45,004	241,641	2,286
西鉄	26,157	4,553	106.1	316	20,261	39,841	103,426	1,556

## グループ連結

(2017年度)

項目 社名	従業員数 (人)	営業収益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
京急	8,891	315,685	16,155
東武	19,171	569,519	36,025
西武	23,564	530,631	42,908
京成	8,903	255,028	34,811
京王	13,040	434,697	23,897
小田急	13,834	524,660	29,328
東急	22,985	1,138,612	70,095
東京メトロ	11,419	425,821	60,370
相鉄	5,182	260,562	18,227
名鉄	29,904	604,804	28,691
近鉄	30,597	1,222,779	29,614
南海	9,158	227,874	14,719
京阪	6,862	322,276	22,712
阪急	22,152	760,252	66,361
阪神			
西鉄	19,102	375,153	11,562

